「令和６年 能登半島地震」編

78 「令和６年 能登半島地震」を体験して Ⅰ

令和6年元日の能登半島地震の被災に見舞われた方々に心からお見舞い申し上げます。

私が元日の午後４時過ぎ、パソコンをしていると急にスマートフォンが鳴り出しました。最初は緩やかだったので、いつもの余震だろうと思っていました。

ところが、揺れがだんだん大きくなり、テーブルの品物が落ちてくるし、怖かったです。揺れが大きくなり、危険なので、職員の指示で外へ出ました。雪が降っていないことが幸いなことでした。寒かったです。外へ出るとアスファルトが大きくひび割れをしていました。

今回の能登半島地震は2007年3月25日(日)、2021年7月に起こった地震も関係があるようです。2007年3月の日曜日に教会へ礼拝に行ってトイレに入っていたら、急に大きな揺れが来ました。そのときは手が自由に動いていたので、電動車いすを操作して七尾市内にある教会から青山彩光苑まで帰りました。2021年7月の地震は、友人と七尾市内の飲食店へ食事に行き、苑へ帰った直後に大きな揺れが来ました。2023年のゴールデンウィークにも大きな地震が起こりました。

令和6年元日の地震では、私が入所している七尾市の障害者支援施設「青山彩光苑」は、地震直後から停電は避けることができ、暖房・電気が通常通りであったことが何より幸いなことでした。もし、停電が長く続いていたら、私も含め、寒さで体調を崩す利用者がいたと思いました。今回は皆さんが体調を崩すことなく、無事に冬を越すことができました。

今回の能登半島地震での最大の課題は断水でした。珠洲から内灘町の広範囲で断水が続いています。市町段階での水道管工事は殆ど終了したようですが、断水しているので、地震直後はカロリーメイト、水分だけでした。数日後には、朝食時間を遅くして、パンやクラッカーとコーヒー、牛乳などでした。昼食と夕食は、普通の食事と変わらないくらいでした。断水のため食器を洗うことができないので、使い捨て容器を使っていました。

七尾市内の水道がほとんど壊滅状態でしたが、七尾市が担当する水道管工事は、今は終了しました。しかし、私有地、青山彩光苑の敷地内の水道管はいつ復旧するかは、目処が立っておりませんでした。そのため、4月まで入浴ができず、他の施設の入浴を利用したり、清拭で対応していましたが、5月から青山彩光苑内の1カ所の入浴設備の修理が終了し、週に2回の入浴ができるようになりました。洗面、歯磨きは、6月初旬の時でもペットボトルの飲料水で軽く行っていました。